

## ⑭福井県災害時交通マネジメント事業

受賞機関 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所、福井県 土木部 道路建設課  
福井県 土木部 道路保全課、越前市 建設部、敦賀市 建設部、福井県南越前町 建設整備課  
西日本高速道路株式会社 関西支社、中日本高速道路株式会社 金沢支社

**キーワード** 災害時交通マネジメント、交通情報マップ、災害時緊急バスの運行、迂回案内

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

令和4年8月の豪雨災害時における交通マネジメントの取組。災害時の大規模な交通渋滞を抑制するため、道路管理者や警察などが、情報を共有・発信、広域迂回の案内、緊急バスの運行などきめ細かく交通マネジメントを実施している点や、関係機関が連携し高速道路の無料化や交通規制など戦略的な交通コントロールを行った点、また、SNSにより逐次の情報発信を行った点が評価された。

### 1. はじめに

令和4年8月の記録的な大雨により、福井県では、鉄道や道路が被災し、嶺北と嶺南を結ぶ全ての交通路が途絶されたため、「福井県災害時交通マネジメント検討会」を立ち上げ、各機関と連携し、交通マネジメントの取組を行った。

### 2. 事業の概要

令和4年8月5日に福井県で発生した高速道路・国道・県道の被災により、各機関において、応急復旧工事を進め、早期の交通確保を行った。また、有識者、行政、高速道路株式会社及び交通事業者等で構成される「福井県災害時交通マネジメント検討会」を設置し、交通需要の抑制や円滑な交通確保に向けた包括的な交通マネジメントについての議論を行った。



国道8号の被災状況

### 3. 事業の成果

#### 1) 交通状況マップの作成・公表と情報発信

渋滞長などの交通状況、通行規制情報、休憩施設の情報、迂回情報が1枚の図面で把握できる交通情報マップを作成し、定時及び渋滞発生時に福井河川国道事務所の公式Twitterで発信し、関係機関からリツイートによる拡散を行い、更なる情報発信に努めた。

#### 2) ボトルネック箇所のマネジメント

国道8号では8月9日より、片側交互通行規制をしていたが、北陸自動車道（石川方面）が通行止めであったため、国道8号の滋賀方面に比べ、石川方面の交通量が著しく増加した。そのため、南側・北側それぞれの渋滞長を計測しながら片側交互通行規制箇所での通行時間を大胆にコントロールした（最大で石川行き10分、滋賀行き1分）。



片側交互通行規制箇所の交通コントロール

#### 3) 仮設トイレの設置及び案内

国道8号の石川方面については、大規模な渋滞が発生することも予想されたため、利用者への配慮として、仮設トイレの設置やその案内及び道の駅「河野」（南越前町）の混雑状況をリアルタイムに情報提供した。

#### 4) 災害時緊急バスの運行

国道8号が通行止めであった8月8日に災害時緊急バスとして、JR武生駅～JR敦賀駅間で無料バスの運行を開始し、嶺北と嶺南との交通を確保した。また、8月9日より北陸自動車道（武生IC～敦賀IC）を通行する運行ルートに変更し、運行台数も増便した。

#### 5) 代替路（無料）措置及び迂回誘導

国道8号が片側交互通行規制となり、通行可能な台数が著しく制限されることから、北陸自動車道において、利用区間を限定し、全車種を対象とした国道8号の代替路（無料）措置を実施した。また、国道8号では、石川方面の交通に対して道路情報板等で、混雑が比較的少ない国道476号等への迂回案内を実施した。

### 4. おわりに

本検討会では、今後の課題として、災害時における通行可否の情報（通れるマップ）の提供や効率的な渋滞状況の把握、災害時緊急バスの運行条件のルール化等が挙げられた。今後、より一層各機関と連携し、災害時における交通需要の抑制や円滑な交通確保に向けた包括的な交通マネジメントの取組を行っていききたい。